

履 修 要 項

国 文 科
英 文 科
放 射 線 科

昭 和 60 年 度

駒 澤 短 期 大 学

学 年 曆

前 期

- 4月8日(月) { 入学式(学部・短大)
{ 积尊降誕会
- 9日(火) { }
 - 12日(金) } 新生オリエンテーション
- 11日(木) { }
 - 12日(金) } 在校生成績発表(学部・短大)
- 11日(木) { }
 - 16日(火) } 成績質疑応答
- 13日(土) 授業開始
- 15日(月) 祝禱音楽法要の日
- 18日(木) { }
 - 19日(金) } 履修届受付(学部・短大1年次生)
- 22日(月) { }
 - 27日(土) } 履修届受付(学部2.3.4年次生・短大2.3年次生)
(学部により受付日が異なる)
- 29日(月) 天皇誕生日
- 5月1日(水) 祝禱日
- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) 研修日(全学休業)
- 5日(日) こどもの日
- 14日(火) { }
 - 23日(木) } 春季健康診断(2.3.4年次生対象)
- 15日(水) 祝禱音楽法要の日
- 6月1日(土) 祝禱日
- 10日(月) 卒業論文論題受付締切(正午)
- 15日(土) 祝禱音楽法要の日
- 7月1日(月) 祝禱日
- 10日(水) { }
 - 16日(火) } 中間試験(授業平常通り)
- 15日(月) 盂蘭盆会
- 17日(水) { }
 - 18日(木) } 前期定期試験(前期終了科目)
(授業休講)
- 19日(金) 夏季休暇第1日

後 期

- 9月9日(月) 授業再開
- 12日(木) 前期定期試験欠試届(追試申込)受付締切
- 12日(木) { }
 - 19日(木) } 外国語指定届受付(仏教・文(除英米文)・法学部・短大国文・英文の1年次生及び経済学部の2年次生)
- 15日(日) 敬老の日
- 17日(火) 祝禱音楽法要の日
- 17日(火) { }
 - 18日(水) } 前期定期試験成績発表及び再試験申込受付
- 23日(月) 秋分の日
- 25日(水) { }
 - 27日(金) } 前期追・再試験(授業平常通り)

- 29日(日) 両祖(道元・瑩山禅師)忌
- 10月1日(火) 祝禱日
- 1日(火) { }
 - 4日(金) } 秋季健康診断(1年次生対象)
- 3日(木) { }
 - 4日(金) } 専攻コース指定届受付(歴史・社会学科1年次生)
- 5日(土) 達磨忌
- 10日(木) 体育の日
- 11日(金) { }
 - 12日(土) } 前期追・再試験成績発表
- 15日(火) 第103回開校記念日(全学休業)
- 16日(水) 祝禱音楽法要の日
- 11月1日(金) 祝禱日
- 3日(日) 文化の日
- 13日(水) { }
 - 15日(金) } 転部科試験願書受付
- 15日(金) 祝禱音楽法要の日
- 21日(木) 太祖(瑩山禅師)降誕会
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 29日(金) 転部科試験
- 12月1日(日) 祝禱日
- 4日(水) { }
 - 12日(木) } 編入学試験願書受付
- 8日(日) 成道会
- 10日(火) 卒業論文受付締切(正午)
- 18日(水) 冬季休暇第1日
- 19日(木) 編入学試験
- 昭和61年
- 1月8日(水) 授業再開
- 15日(水) 成人の日
- 16日(木) { }
 - 27日(月) } 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 26日(日) 高祖(道元禅師)降誕会
- 1月28日(火) { }
 - 2月5日(水) } 定期試験(一般・外国語・保健体育科目)
- 1日(土) 祝禱日
- 7日(金) { }
 - 11日(火) } 定期試験欠試届(追試申込)受付締切
卒業論文口頭試問
- 15日(土) 建国記念の日
- 19日(水) 涅槃会
- 19日(水) { }
 - 20日(木) } 成績発表及び追・再試験申込受付
(学部4年次生・短大生)
- 20日(木) { }
 - 26日(水) } 追・再試験(学部4年次生・短大生)
追試験(学部1.2.3年次生)
- 3月4日(火) { }
 - 1日(土) } 祝禱日
- 19日(水) 卒業生名簿発表
- 21日(金) 春分の日
- 25日(火) 卒業式(学部・短大)

目 次

I	単位制と学年制	(2)
1.	単位制と学年制	(2)
2.	授業科目の単位計算	(2)
3.	授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数	(3)
III	授業科目の履修方法	(3)
1.	一般教育科目の履修方法	(3)
2.	外国語科目の履修方法	(5)
3.	保健体育科目の履修方法	(7)
4.	専門教育科目の履修方法	(8)
5.	再履修科目の履修方法	(9)
6.	授業科目一覧表	(10)
	※コード番号について	(15)
IV	履修科目の登録(履修届)	(17)
1.	履修科目の登録	(17)
2.	履修届記入上の注意	(18)
V	試験および成績評価	(19)
1.	定期試験	(19)
2.	中間試験	(19)
3.	追・再試験	(19)
4.	受験心得	(20)
5.	成績評価・単位認定	(20)
VI	進級について	(21)
VII	クラス制およびクラス主任	(22)
VIII	教職課程・資格講座(国文科・英文科)	(22)
IX	診療放射線技師国家試験受験資格の取得について	(23)
X	事務取扱いについて	(23)
XI	届書・願書について	(25)
XII	各種証明書取扱い窓口	(26)
	試験実施規程(抜萃)・進級規程	(27)
	講義内容	(31)

I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「短期大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準にしたがって授業科目を履修し、試験に合格することによってその授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学期間は国文科・英文科が2カ年以上（4カ年をこえてはならない）、放射線科が3カ年以上（5カ年をこえてはならない）である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 専門教育科目（必修科目・選択科目）

(a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目

(b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

(c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

Ⅱ 卒業に必要な単位数

科 所要		区 分	一般教育科目			外国語 科 目	保健体育 科 目		専門教育 科 目		計
			人文 分野	社会 分野	自然 分野		講義	実技	必修 科目	選択 科目	
国 文	単位数	6	4	2	4	2	1	28	20	67以上	
	科目数	3	1~2	1	2	1	1	9			
英 文	単位数	6	4	2	6	2	1	32	14	67以上	
	科目数	3	1~2	1	3	1	1	11			
放 射 線	57年度 以降入学生 適用	単位数	4	2	4	4	2	1	82	6	105以上
		科目数	2	1	1~2	2	1	1	39		
	56年度 以前入学生 適用	単位数	4	2	12	4	2	1	58	22	105以上
		科目数	2	1	6	2	1	1	29		

Ⅲ 授業科目の履修方法

各科の学生は、それぞれの教育課程から次のように授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、「授業科目一覧表」(P.10~P.14)を参照のこと。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は本人の学生番号のクラスで履修すること。(再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない)
- ハ. 各学年に担当された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に担当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低及び最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修しても認定されない。

1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は特定の科目以外は1年次において所定の単位数・科目数を履修しなければならない。
- ロ. 国文科・英文科は人文分野「宗教学Ⅰ(1年次)」・「宗教学Ⅱ(2年次)」を必修、放射線科はいずれも1年次で必修とする。
- ハ. 放射線科の「宗教学Ⅰ」・「宗教学Ⅱ」の授業は金曜日に玉川校舎(道順は学生部で配布の学生手帳を参照)で行う。
- ニ. 各科、一般教育科目の所要単位数・授業科目は次表のとおりである。

一般教育科目の卒業所要単位数

科		人文分野	社会分野	自然分野	計
国	文	6 (3)	4(1~2)	2 (1)	12(5~6)
英	文	6 (3)	4(1~2)	2 (1)	12(5~6)
放射線	57年度以降入学生適用	4 (2)	2 (1)	4(1~2)	10(4~5)
	56年度以前入学生適用	4 (2)	2 (1)	12 (6)	18 (9)

(注) イ. () 内の数字は科目数

ロ. 放射線科56年度以前入学生の自然分野は選択2単位を含む

一般教育科目の授業科目及び履修学年

科	科目名・単位数	人文分野					社会分野					自然分野														
		宗教学I	宗教学II	哲学	倫理学	文学	歴史学	法学憲法	社会学	文化人類学	法学	心理学	一般数学	数学	一般物理学	物理学	物理学実験	一般化学	化学	化学実験	一般生物学	生物学	地学	心理学	情報科学概論	家庭科学
		2	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2	4	4	2	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2
国	文	1必	2必	1年	1年	1年	1年	1年	1年													1年	1年	1年	1年	1年
英	文	1必	2必	1年	1年	1年	1年	1年	1年													1年	1年	1年	1年	1年
放射線	57年度以降入学生適用	1必	1必	1年				1年		1年	1年	1年	1年			1年				1年						
	56年度以前入学生適用	1必	1必	1年				1年		1年	1年	1必		1必	1年	1必	1年			1必						

(注) イ. 法学憲法（日本国憲法2単位を含む）と一般数学（数学）は通年で、その他は半期の授業科目である。

ロ. 上記表の1必、2必または1年と年次の指定されてある授業科目が本人の所属する科の開講科目である。

(a) 1必……1年次生の必修科目

(b) 2必……2年次生の必修科目

(c) 1年……1年次生の履修科目（2年次生の履修可）

2. 外国語科目の履修方法

A. 国文科

イ. 英語・ドイツ語・フランス語・中国語およびスペイン語のうち1カ国語（1年次2単位・2年次2単位）4単位を選択必修とする。

ロ. 必修とした科目以外の外国語の履修を希望するものは1カ国語（1年次2単位・2年次2単位）4単位まで選択履修することができるが、この場合の単位は卒業に必要な単位に含めることができない。ただし、必修を英語以外の外国語にしたときは選択を英語とする。

ハ. 1年次の9月に、2年次で履修する外国語の登録を必ずすること。

授 業 科 目	単 位	履 修 科 目 数
英 語 I	2	同一語を1年次I、2年次IIとし合計2科目4単位選択必修
英 語 II	2	
ド イ ツ 語 I	2	
ド イ ツ 語 II	2	
フ ラ ン ス 語 I	2	
フ ラ ン ス 語 II	2	
中 国 語 I	2	
中 国 語 II	2	
ス ペ イ ン 語 I	2	
ス ペ イ ン 語 II	2	

B. 英文科

59年度以降入学生適用

1年次の履修

4カ国語のうち英語Iと入学手続の際に選択した外国語Iの計2科目4単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 I	2	必修
ド イ ツ 語 I	2	入学手続の際に選択した外国語（1カ国語）を必修
フ ラ ン ス 語 I	2	
ス ペ イ ン 語 I	2	

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれか1カ国語1科目2単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 II	2	うち1カ国語(1科目) 必修
ド イ ツ 語 II	2	
フ ラ ン ス 語 II	2	
ス ペ イ ン 語 II	2	

(注意) 1年次履修の外国語(英語と他の1カ国語)の中から2年次に履修する外国語(第1外国語)を学生自身が選択し、1年次の9月に登録する。したがって、1年次生は前期の授業で十分考慮の上登録すること。

58年度以前入学生適用

イ. 英語(1年次IG・IR4単位, 2年次II2単位)3科目6単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 IG	2	1年次必修
英 語 IR	2	
英 語 II	2	2年次必修

ロ. ドイツ語, フランス語, 中国語およびスペイン語のうち1カ国語(1年次2単位, 2年次2単位)4単位まで選択履修することができるが, この場合の単位は卒業に必要な単位に含めることができない。

授 業 科 目	単 位	備 考
ド イ ツ 語 I	2	同一語を1年次I, 2年次IIとし合計2科目4単位選択履修できる。
ド イ ツ 語 II	2	
フ ラ ン ス 語 I	2	
フ ラ ン ス 語 II	2	
中 国 語 I	2	
中 国 語 II	2	
ス ペ イ ン 語 I	2	
ス ペ イ ン 語 II	2	

C. 放射線科

1年次に英語2単位, ドイツ語2単位 計2科目4単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	備 考
英 語	2	1年次2科目4単位必修
ド イ ツ 語	2	

※「英語」・「ドイツ語」の授業は金曜日に玉川校舎(道順は学生部で配布の学生手帳を参照)で行う。

3. 保健体育科目の履修方法

A. 国文科・英文科（1年次必修）

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は保健理論・体育理論のいずれかを2単位、実技は体育実技を1単位、計3単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保 健 理 論	2	体育実技1単位を含めて合計2科目3単位選択必修
	体 育 理 論	2	
実 技	体 育 実 技	1	

B. 放射線科（1年次必修）

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は保健理論を2単位、実技は体育実技を1単位、計3単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保 健 理 論	2	2科目3単位必修
実 技	体 育 実 技	1	

※「体育実技」の授業は金曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

体育実技履修上の注意

イ. 授業について

実技の種目にはつぎの2～3種目が開講されている。1年間実技の授業が行われる訳であるが、前期と後期はそれぞれ種目を入れ替えて行う。

（注意） 教務部に提出する「単位履修届」の科目名・担任名は授業時間表による科目名・担任名を記入すること。種目名また種目の担当者名ではない。

火・2（英）	火・4（英）	金・1（国）	金・2（国）	金・3（放）
担 任 名 長浜	担 任 名 長浜	担 任 名 牧野	担 任 名 上山	担 任 名 高橋
バスケット 長浜	バスケット 長浜	バスケット 牧野	バスケット 牧野	テニス 高橋
バレー 竹田	バレー 竹田	バレー 長浜	バレー 長浜	球 技 秋田
空手道 大石	太極拳 大石	剣 道 上山	剣 道 上山	

※放射線科は玉川校舎で行う

※国文科・英文科は本校で行う。また、組分けについては時間割参照のこと。

ロ. 単位の認定について

1年間の授業を通して1単位を認定する。前期と後期は種目の上で便宜上分けられるもので、あくまでも1年間の授業を通して単位を認定する。

ハ. 評価について

週一回の授業を真剣に受講することが、実技の重要な意味であることから、本学においては出席を評価の上で最も優先させている。この基盤の上に立って前期・後期それぞれの種目において行われる実技試験の点数、および平常の授業における態度が加味されて、実技の評価が行われる。

ニ. 見学について

身体の具合が悪い場合は、担任教員にその旨を報告し、授業を真面目に見学すること。

※長期見学者：前期または後期をほとんどあるいは全部見学せざるを得ない精神及び身体上の故障や病気を持っている場合は長期見学者として取り扱い毎時間の真面目な見学をもって出席に代える。また、実技テストは行わずレポートをもってこれに代える。レポートの課題については担任教員より指示を受けること。

ホ. 服装・更衣について

種目毎に、それぞれの担任教員の指示に従い、指定された場所以外では着替えないこと。

ヘ. 盗難・事故・負傷について

(a) 盗難：実技の受講日には貴重品は持参しないこと。やむを得ず持参した場合には担任教員に指示を受けること。最近、特に実技の時間を狙った常習者が横行しているので十分注意してほしい。

(b) 事故・負傷：実技の時間に事故や負傷が発生した場合には直ちに担任教員に報告し適切な指示を受けること。

ト. 掲示板の利用について

実技上の連絡は、掲示板に掲示するので平常よく見ておくこと。

4. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は、必修科目と選択科目とに分かれ、次表による単位数・科目数を履修すること。また各年次で履修できる授業科目は「授業科目一覧表」(P.10~P.14)のとおりになっているので、履修する授業科目の選択については専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。

専門教育科目の卒業所要単位数

科		必修科目	選択科目	計
国	文	28 (9)	20	48
英	文	32 (11)	14	46
放射線	57年度以降 入学生適用	82	6	88
	56年度以前 入学生適用	58	22	80

()内の数字は科目数

5. 再履修科目の履修方法

- イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。
- ロ. 必修となっている科目については同じ授業科目を再履修するか、または再試験で単位を補わなければならない。
- ハ. 再履修の科目は新履修科目と同時に届け出をすること。
- ニ. 放射線科の学生で外国語・宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」(本校で授業を行う)で履修すること。
また、体育実技の再履修者は、2年次以降の夏季または冬季に実施される校外学習を受講すること。日程等は追って掲示する。
- ホ. 1年次生は、再履修クラスを履修することはできない。

※コード番号について

1. 授業科目コード設定の方法

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味をもたせている。

イ. 科目コード区分



短大 科 系列 分野 一連番号

ロ. 短大, 科番号は「学生番号について」で説明する。

ハ. 系列, 分野について

授業科目の区分	系 列	分 野
一般教育科目	0	
人 文 分 野		1(必修), 2(選択)
社 会 分 野		3
自 然 分 野		4
外国語科目	2	
保健体育科目	4	
体 育 実 技		1
保健理論, 体育理論		2
専門教育科目	5	
必 修 科 目		1, 2, 3
選 択 科 目		5, 6, 7, 8
課程・講座科目	9	
必 修 科 目		1
選 択 科 目		2
教 科 科 目		3, 4, 5, 6, 7

